

校長室より

令和5年1月26日(木)

「あいさつ、そうじは大切なんですね」



先日、講演会に参加する機会があり、その中で印象に残るお話があったので紹介します。

講師：横井康孝氏（ユニフォームネクスト代表取締役社長）

演題：「社員のHappy 学校のHappy」

横井さんは大学卒業後、大手企業に就職しましたが、2年ほどで退社し、35歳の若さで「ユニフォームネクスト」の社長に就任。すばらしい経営手腕で会社は急成長し、すぐさま東証マザーズ市場に上場されました。今回の講演では、横井さんの会社が急成長した要因をユーモアを交えながらお話してくださいました。

横井さんは当初より社員教育の中で絶対に譲れないものを2つ挙げています。

まず1つ目は、「あいさつ」です。横井さんはしっかり相手の顔を見て笑顔であいさつすることを社員に徹底しています。これによって「お互いがいい気持ちになる」「相手の調子がわかる」など、効果は絶大だそうです。そして、このあいさつが当たり前になってくると、「この人は私のことをちゃんと見てくれているんだな」という気持ちが変わってくるというのです。

2つ目は、「そうじ」です。企業の中には、清掃業者に依頼して、そうじをしてもらう所も少なくないのですが、横井さんは清掃をあえて社員に行わせています。初めは、そうじをすることに抵抗があった社員もいたようですが、横井さんが社員に「確かに!」と思わせるまで繰り返し伝えたことで、現在は当たり前のようにそうじをしているそうです。このそうじによって、職場がいつもきれいに保たれるのはもちろん、社員が「あれ?ここがまだ汚れているな」など気づきの力が身についてきたそうです。この気づきの力が身についてくると、自然に仕事上のミスが減って業績が上がり、社員の意欲も上がってきたとおっしゃっていました。まさに「社員のHappy」ですよ。

会社と学校を同じように考えることは難しいかもしれませんが、「学校のHappy」すなわち、子どもたちや教職員が元気に明るく楽しい学校生活を送るためにも今回の講演で得たことを肝に銘じていきたいと思います。

